

# 簿記論 解答速報

第69回税理士試験 簿記論解答速報 (令和元年8月8日 17:00現在)

解答は弊社独自の見解に基づき作成するもので、主催者の解答を保証するものではありません。

また、解答は予告なく変更することがあります。

## 〔第一問〕

### 問 1

(1)		2	3,705,000	円
(2)		1	6,580,000	円
(3)		1	C	
(4)	ア	1	1,250,000	(単位：円)
	イ	1	640,000	(単位：円)
	ウ	1	5,520,000	(単位：円)
	エ	1	380,000	(単位：円)
	オ	1	3,910,000	(単位：円)
(5)	カ	1	D	
(6)		2	2,670,000	円

### 問 2

(1)	①	1	イ	
(2)	②	2	15,000,000	(単位：円)
(3)	③	1	340	(単位：千円)
	④	1	3,650	(単位：千円)
	⑤	1	240	(単位：千円)
	⑥	1	16,100	(単位：千円)
(4)	⑦	1	2,000	千円
	⑧	1	25,000	千円
	⑨	2	12,000	千円
(5)	⑩	2	11,200	千円

# 簿記論 解答速報

〔第二問〕

問 1

(1)	①	1	13,500	千円	(2)	⑦	1	△10,500	千円
	②	1	為替差損	・ 為替差益		⑧	1	6,000	千円
	③	1	9,000	千円		⑨	1	△9,000	千円
	④	1	前払費用	・ 前受収益		⑩	1	4,500	千円
	⑤	1	為替差損	・ 為替差益					
	⑥	1	3,000	千円					

問 2

(1)	①	1	3,000	千円	(2)	④	1	17,070	千円
	②	1	不利差異	・ 有利差異		⑤	1	115,000	千円
(2)	③	1	4,170	千円	(3)	⑥	1	2,436	千円

(3)⑦

(単位：千円)

借 方		貸 方	
勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
1 退職給付引当金	210	退職給付費用	210

問 3

①	1	1,301,310	千円	⑤	1	1,030	千円
②	1	225,000	千円	⑥	1	2,700	千円
③	1	74,170	千円	⑦	1	△30,000	千円
④	1	536,500	千円	⑧	1	20,340	千円

# 簿記論 解答速報

〔第三問〕

(単位：円)

番号	金額	番号	金額
1	② ※ 3,485,040	19	① 9,999,999
2	② 14,767,600	20	② 1,000,000
3	① 3,200,000	21	② 24,500,000
4	① 5,110,000	22	① 11,718,471
5	① 1,345,080	23	② ※ 14,480,000
6	① 16,000,000	24	① 6,718,471
7	② 8,500,000	25	① 4,318,400
8	② 52,000,000	26	① 326,952
9	① 14,026,945	27	② 7,500,000
10	② 1	28	① 960,000
11	① 20,000,000	29	② 1,785,000
12	① 2,920,000	30	② 52,892,740
13	① 5,249,999	31	② 455,000
14	① 78,623,770	32	① 158,800,000
15	① 1,909,650	33	② 150,000
16	② 2,000,000	34	② 276,945
17	① 4,258,952	35	① 4,184,999
18	① 80,000		

※ 別解：1 2,455,040

23 13,450,000

# 第69回 税理士試験 簿記論 講評

## 第一問

問1、問2ともに解答しやすい箇所が多めの問題となっています。

- ・問1（商品売買取引）… 売上原価対立法による勘定記入を中心とした問題です。難しい処理となるものは特にないので、出来るだけ多く解答しておきたい問題であったと言えます。
- ・問2（純資産会計）… 分配可能額や株式交換が解答出来なくても、それ以外の箇所をしっかりと解答できていればよいでしょう。特に設問(1)や(2)といったあたりは非常に簡単な内容の問題です。

## 第二問

問1と問2と中心に解答し、問3は部分点が確保できていれば十分でしょう。

- ・問1（為替予約）… 振当処理は基本内容と言えます。独立処理の内容も含め、完全解答も十分可能な内容の問題です。
- ・問2（退職給付会計）… 推定を要する箇所があり、完全解答は容易ではありませんが平易な箇所を中心に解答しておきたいところです。
- ・問3（連結会計）… 税効果や子会社株式の追加取得が初めて出題されたため、そのあたりの対応は困難であると予想されます。

## 第三問

例年と比較してボリュームは少なめです。また、一部の内容を除き、1つ1つの論点も例年と比べて取り組み易いものを中心となっています。商品（委託販売）については難易度が高くなっていますが、圧縮積立金、のれん（減損会計）、有価証券及び投資有価証券といったあたりを中心にしっかり解答していきたいところでした。

## 予想合格ライン

以上を踏まえての予想合格ボーダーラインは次のとおりとなります。

第一問	第二問	第三問	合計
15点	15点	30点	60点